

効果検証シート

実施年度	交付金の種類	事業名			担当室
平成28年度	市単	隠(なばり)の農産品を活用した起業・創業支援事業			農林資源室
事業実績額(円)		21,465,658			
総合戦略での位置づけ	プロジェクト名	元氣創造プロジェクト			
	基本的な方向	就業機会の確保と雇用の創出 地域産品、地域資源を活用した「名張ブランド」の創出			
	具体的な施策	なばり元氣のモトづくり～人材を磨き、地域資源を生かし、もの・仕事をつくり、名張を元気にする～			
事業の目的		米やブドウなど、少量多品目の良質な「隠(なばり)」の食材を本格的に発信するため、新たな販路開拓に取り組み市場規模の拡大を進め、雇用の拡大、農業の活性化、商業の活性化につなげます。また、農産品等を調査・研究し、名張の食材を国内外へ発信します。			
事業の内容		<p>(1) 農業分野の有識者を雇用し、次世代への知識伝承や市内農産品調査の取組等を進め、今後設立予定の農産品加工等団体において、加工技術習得セミナーで育成した人材の雇用や障害者の雇用等を目指します。</p> <p>(2) 閉校小学校を有効活用し、名張市内の特色ある農産品を対象とした加工品の新商品開発を行います。</p> <p>(3) 将来的に行政からの補助金等に頼らずに、自走していく、自立していくための団体設立を目指し、農産品加工及び販路開拓に向けた市場調査や商品開発、加工品製造の基盤整備を進めます。</p>			
重要業績評価指標(KPI)	指標		基準値(H28.3)	目標値(H29.3)	実績値(事業終了時)
	名張の農産品を活用した団体等設立		—	2団体	1団体
	団体等設立による雇用創出		—	5人	4人
	名張の農産品を活用した試作品開発		—	5種類	5種類
平成28年度の取組概要		<p>・地元の野菜やぶどう、いちごを使った加工品(7品目14商品)を開発しました。また、各種物産展への出展、都市圏での試食会、テストマーケティングを行い、新商品を含めた地元物産の販路拡大にも取り組みました。</p> <p>・6次産業の振興のため、農産品の加工と販路の開拓を行う事業者設立の取組を進め、平成29年4月には、旧滝之原小学校給食室を改修した「隠タカラモノ農産加工所」が法人運営により開業しました。</p>			
外部有識者による効果検証	検証の時期	平成29年6月			
	検証の体制	名張市地域活力創生会議による			
	主な意見	・6次産業を一から始めるには大きな資金が必要となるが、名張市が6次産業の加工を行う会社を立ち上げたおかげで、農家でも加工食品が出来る環境が整った。			
	結果の公表	平成29年8月、名張市ホームページで公表			
市議会による効果検証の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 (時期 : 平成29年8月)			
総合評価		<p>一部のKPIが目標値に達しなかったものの、本市に埋もれている少量多品目の良質な「隠(なばり)」の農産品の活用やそれを生かした加工施設の整備、雇用創出、起業・創業など、今後の農業の活性化、商業の活性化につなぐ取組を進めることができた。地方創生に相当程度効果があったと評価する。</p>			
今後の方針	方針	事業終了			
	理由	当初予定どおり事業を終了した			